

48.「子どもはどうして勉強しなければいけないのでしょうか」

2013年3月1日 社会福祉法人 江刺保育園

子どもたちは「自分たちはどうして勉強しなければならないのだろうか？」という疑問を持っています。「どうして学校に行かなければならないのだろうか？」と思うこともあることでしょう。親として私たちはこのことについてどのように答えてきたのでしょうか。よいお仕事をするために、人のためになるように、立派な人になるために、お金持ちになるために、など子どもたちにお話したことを思い出します。しかし、良く考えてみますとどうして勉強をする必要があるのか正しい答えを見いだせないまま、学校は行かなければならない場所であると思い込んでいるというのが本当のところだと思います。ここで改めてどうして勉強するのかを考えてみましょう。

結論から言えば、子ども時代に学校に行き勉強するということは、人間としての良い生き方を見つけ、それを実践するための準備をするということなのだと思います。人間としての良い生き方とは自分のやるべきことを見つけること、具体的に言うなら自分が喜び努力できる仕事を見つけ出すことです。また、人生の良き伴侶を見つけ、その人と心を合わせ、力を合わせて共に生活し、家族を形成することが良い生き方であると思います。生きるための本当の喜びを見つけるために私たちは勉強するのです。ですから、勉強は多くの知識を身に着けるだけではなく、同時に、健康であり、命の大切さや自然のしくみを知り、他者との良い関係性を築き、自分が生まれ生きていることを喜び、良かったという肯定感を持つことが重要になるのです。知識を多く身に着けただけでは勉強したとは言えないのです。

子どもが勉強し、生きるためにもっとも重要なことは、この自己肯定感です。このように生きていることを自分自身で良い事として捉えることが勉強する心の基盤になるのです。生まれてこない方が良かった、生きていることがとても辛いという心を持ってしまうと、全てにおいて生きる気力は失われてしまいます。他者との関係性も破綻してしまい、自分を孤独の暗やみに閉じ込めてしまうのです。いじめや虐待は子どもたちから自己肯定感を奪い取ってしまい、孤独というブラックホールに突き落としてしまう行為なのです。

子どもたちが勉強するということは良く生きたいという思いをさらに確固とした強い意志として、生きる覚悟を身に着けるということなのです。ですから私たち大人がより良い人生を生きて行きたいという希望を持ち続け、「生きる」とはいかにあるべきなのかを身をもって示さなければなりません。ですから勉強するのは子ども達だけではなく、私たち大人も同様に勉強しなければならないのだと思います。



【材料と分量】 10 個分

おいもごはんのおやき

じゃがいも 200g (中2個)、
ご飯 460g、
しらす干し 30g (1/2カップ)、
マヨネーズ 大さじ2弱、
しょうゆ 大さじ2強、
あおのり 少々、
サラダ油 適量

【作り方】

- ①じゃが芋は茹でてつぶす。
- ②マヨネーズとしょうゆはよく混ぜておく
- ③材料をすべて混ぜ合わせ、10等分して小判型にまとめる。
- ④オーブンやフライパンなどに薄く油をひき、
薄らと焦げ目がつくまで焼く
- ⑤裏側も同様。

